

近交を考慮した交配種雄牛情報の表示を開始しました！ ～検定情報サマリー(検定終了通知書)の利用～

1 はじめに

「検定情報サマリー」は、乾乳または次産分娩を迎えた検定牛の情報を帳票として検定農家に届けられます。この情報は、適切な飼料給与の確認など飼養管理面を含む多岐にわたりますが、利用法のひとつに「遺伝的な改良」があり、適切な交配種雄牛の選定活用出来ます。

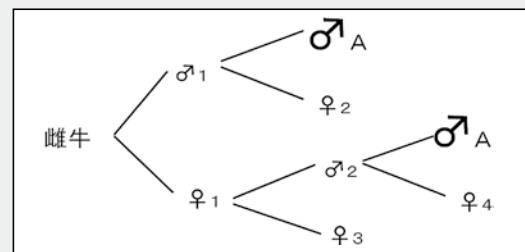
従来から、交配種雄牛の選定情報として、改良情報に掲載される各育種価(EBV)や血統情報を表示してきましたが、本年9月発行分から新しく近交を考慮した交配種雄牛情報の掲載を開始しました。今回はこの新情報の活用法を紹介します。

2 近交とは

「近交」とは近親交配の略称です。近交係数とは近親交配の度合いを計算したもので、近交係数が高ければ高度な近親交配が行われたことを意味します。近親交配は近交退化量を上回る遺伝的改良を得ることができれば、ある程度は問題ありませんが、図1に示したような近交係数6.25以上の交配は、乳量や繁殖成績に影響があるとされていますので、近交係数6.25以上の交配は避けるのが一般的です。

(図1)近交係数6.25になる交配例

(高名な種雄牛♂Aの子にあたる種雄牛♂1と♂2を2代にわたり交配してしまった例)



(参考)近交係数1%ごとの近交退化量
乳期乳量 : -28.50kg
分娩間隔 : 0.4367日
決定得点 : -0.0188点
(2010年日本ホルスタイン登録協会)

3 近交を考慮した交配種雄牛情報

血統登録された検定牛は、「検定情報サマリー」の右下欄に図2のように交配種雄牛情報が新しく表示されます。種雄牛の総合指数(NTP)トップ40頭を交配した場合に、近交係数が6.25未満となる種雄牛を2通りで表示しています。

①総合指数順

総合指数が良好な順に10頭の種雄牛を並べて表示してあります。

②近交係数順

近交が低い順に5頭の種雄牛を並べて表示してあります。

総合指数は、泌乳能力と体型をバランス良く改良し生涯生産性を向上させる指数です。すなわち①総合指数順の10頭から入手できる種雄牛を選定して交配することが効率の良い遺伝的改良につながります。

4 その他

無登録牛は、日本ホルスタイン登録協会の近交回避情報に掲載されませんので近交係数を表示できません。そこで、検定牛の父牛の血統と交配種雄牛の2代祖までの血統に、共通祖先が認められないものを表示します。しかし、検定牛の母牛と交配種雄牛との共通祖先の確認は出来ませんので注意が必要です。こうしたことを防ぐ為にも血統登録を取得しましょう。

また、未経産牛は、今後「繁殖台帳Webシステム」等を利用して情報提供したいと考えています。

これらに関する問い合わせは岡山種雄牛センター(電話0868-57-2475)担当:小園)へご連絡下さい。

(図2)

近交を考慮した交配種雄牛情報		
①総合指数順		
略号	総合指数	近交係数
JP9H99955	+3298	4.99
JP9H99962	+3183	5.60
JP9H99959	+2852	4.40
JP9H99912	+2842	5.75
JP9H99958	+2604	5.51
JP9H99922	+2249	5.25
JP9H99902	+2244	4.79
JP9H99953	+2198	6.11
JP9H99936	+2143	5.56
JP9H99940	+2130	4.70
②近交係数順		
略号	総合指数	近交係数
JP9H99984	+1947	3.33
JP9H99937	+1879	3.93
JP9H99915	+1881	4.28
JP9H99959	+2852	4.40
JP9H99954	+1848	4.56

日本ホルスタイン登録協会
近交回避情報による近交係数6.25未満の種雄牛

日本政策金融公庫農林水産事業からのお知らせ -その②-

広島県の酪農家の皆様へ

このコーナーでは日本政策金融公庫から、酪農家の皆様の経営に役立つ情報を提供して参ります

TOPIC 農業改良資金のご活用事例

平成22年10月から、無利子の農業改良資金は日本公庫が融資を取扱っています。当資金のご利用に際しては、公庫の審査のほかに都道府県による農業改良措置の認定が必要となります。今回は、農業改良措置の事例を紹介するので、今後設備投資のご予定があればぜひ本資金の活用をご検討ください。

〈農業改良措置〉自動給餌機の導入によるコスト低減、労働負担の軽減

【経営概要】酪農専業の家族経営で、経産牛55頭規模。

【目的・効果】自動給餌機を導入し、育成管理の徹底のほか、給与量を個別管理することで無駄なコスト削減が可能となる。また、労働力軽減にもつながり、ゆとりある労働環境の整備及び乳量の安定生産が見込まれる(牛舎、パーラーも同時期に整備)。

〈農業改良措置〉哺育舎、哺育ロボット導入による個体管理の徹底、労働力の軽減

【経営概要】畑作と酪農の複合経営で、酪農は経産牛96頭規模(フリーストール牛舎、パーラー)。

【目的・効果】哺育舎及び哺育ロボットを導入し、乳牛の個体管理や衛生管理を効率的に行うとともに、労働力軽減や衛生費の削減により安定した生産体制や農業経営を確立する。

〈農業改良措置〉搾乳ロボットの導入で労働力軽減と単位生産乳量のアップ

【経営概要】酪農専業の法人経営。経産牛188頭規模(フリーストール牛舎、パーラー)。

【目的・効果】近年、規模拡大が進む中、酪農経営は労働過重が課題となっている。コントラクターや酪農ヘルパー利用組合等の地域農業支援システムの整備は進んでいるが、労働環境の改善は進まないことから、本施設の導入により搾乳作業を分業化し、他作業への時間の充たを図った(従来のパーラーと搾乳ロボットを併用)。

※農業改良措置とは、①新たな農業部門の開始(従来取扱っていない作目、品種への進出)、②新たな加工事業の開始、③農産物又は加工品の新たな生産方式の導入(新たな技術・取組みを導入して品質・収量の向上やコスト・労働力の削減を目指す場合)、④農産物又は加工品の新たな販売方式の導入、のいずれかをいいます。
※審査の結果によりご希望に添えない場合がございます。

(株)日本政策金融公庫 広島支店 農林水産事業

所在地:〒730-0042 広島市中区国泰寺町2-3-20
TEL:082-249-9152 FAX:082-249-9102

○相談窓口も以下の場所で開催しております。

三次相談窓口(毎月第1、第3水曜日、11月は9日と16日) 場所:三次農業協同組合本店

庄原相談窓口(毎月第1、第3木曜日、11月は10日と17日) 場所:庄原農業協同組合本店

福山相談窓口(毎月第2金曜日、11月は11日) 場所:日本政策金融公庫福山支店

※予約制で開催しております。ご来店の際は事前にご連絡をお願いいたします。

◆ 11月10日開催

可変径式TMR成形密封装置の現地検討会

(独)農研機構生研センターでは、TMR等の混合飼料を農家のニーズに応じて直径の異なるロールペールに成形、ラップフィルムで密封する「可変径式TMR成形密封装置」の開発を進めています。ロールペールの大きさを変えても高品質な発酵TMRに調製可能であることが特徴です。

このたび、広島県総合技術研究所畜産技術センターにおいて、可変径式TMR成形密封装置によるTMRの成形密封作業をご覧いただくとともに、畜産農家およびTMRセンターの皆様、行政、普及組織、試験研究機関の方々と意見交換を行う現地検討会を下記のとおり開催します。当日参加も可能です。

参加者募集

- 開催日時：平成23年11月10日(木)
検討会 13:30～15:00
実演会 15:00～15:30
- 開催場所：検討会および実演会ともに
広島県総合技術研究所畜産技術センター
〒727-0023 広島県庄原市七塚町584
- 参加申込み先・問い合わせ先
新農業機械実用化促進株式会社
TEL：03-3233-3834 FAX：03-3233-3800
e-mail：shinnouki@gol.com



可変径式TMR成形密封装置で成形密封されたロールペール(左：最大径、右：最小径)

◆ 広島牛体外受精卵の販売(広島県)

広島県では畜産農家等における体外受精卵の需要等の調査を目的に、安価で登記可能な広島牛体外受精卵の一般販売を開始しました。凍結受精卵の受胎率も50%程度見込まれる状況から積極的な活用をお願いします。

販売方法

- 販売対象者：県内に住所地を有する酪農家、移植師等。
- 販売価格は：一卵当たり9,100円(消費税、流通手数料を含む)。
- 販売方法は：家畜人工授精用精液に準じて行います。

販売条件

- 原則、他者への譲渡はできません。
 - 購入された方は、購入後3年間は県畜産事務所が行う移植状況調査に御協力頂きます。
- 不明な点は、広酪事業推進課(電話0824-64-2072)まで問い合わせください。

◆ 9月1日「広島農政事務所」組織再編(中国四国農政局)

平成23年9月1日付けで農林水産省は組織再編を行い、広島農政事務所は中国四国農政局「広島地域センター」と「福山地域センター」となりました。

各地域センターでは、引き続き「戸別所得補償制度」等の農業経営の安定や農山漁村の6次産業化、食の安全・安心確保等の業務に取り組まれます。

■新組織体制

再編後の名称等	管轄範囲
■広島地域センター 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎2号館6F 電話082-228-5840	広島市・呉市・竹原市・大竹市・東広島市・廿日市市・安芸高田市・江田島市・府中市・海田町・熊野町・坂町・安芸太田町・北広島町・大崎上島町
■福山地域センター 福山市千田町2丁目5-30 電話084-955-1951	三原市・尾道市・福山市・府中市・三次市・庄原市・世羅町・神石高原町

参加者募集

11月10日締め切り



12月1日開催

酪友フォーラム「淡路島」で開催

西日本酪農青年女性会議は、第18回酪友フォーラムを次のとおり開催します。

会員をはじめ、多数で参加下さいますようお願いいたします。

- 日時：平成23年12月1日(木)～2日(金)
13時～17時30分
※2日(金)は朝食後に自由解散
- 場所：夢海遊(ゆめかいゆう)淡路島
兵庫県洲本市山手1-1-50
電話0799-22-0203
- 参加費：一人当たりの参加費は全日程8千円、懇親会まで4千円、当日のみ1千円
※但し、会員は半額助成します。
- 申込方法：
平成23年11月10日(木)までに事務局(事業推進課 伊藤)まで連絡下さい。

■主な内容：

- 第1部 講演会「子牛が元気になる方法」
(株)微生物化学研究所
函城悦司(はこぎ えつし)氏
- 第2部 講演会
「酪農経営における記帳管理の大切さについて」
全酪連購買部酪農生産指導室
丹戸 靖(たんど やすし)氏
取り組み発表「会員生産者による事例紹介」
- 第3部 意見交換会(グループ討議)

広酪メンバーズクラブ(宮地健司委員長、会員四十六名)は、会員二十五名(実出席九名、委任出席十六)が参加して第十六回目となる通常総会を開催した。
平成二十二年度は、広酪、酪農協会からの助成金など二十四万七千円の収益に対して、西日本酪農青年女性会議の酪友フォーラムや西



(若人を前に熱弁する隅屋専務)

また、総会終了後は隅屋寒三専務(広酪)から「歴史を回顧し、酪友の輪を広げるために」と題して講演会を行い、広島県の酪農の生い立ち、広酪が今後取り組むべき課題と行動を交え、同クラブの今後の積極的かつ活力ある行動に期待感をにじませた。
平成二十三年度は同会議への活動参加に加えて、新たにひろしまフードフェスティバル等のイベントに参加して、消費者交流を積極的に行うこととし、百二十六万三千円の予算案を承認した。役員改選は全役員留任で調整することとした。
日本酪農発表大会への参加経費など二十九万二千円を計上。次期繰越金九十八万八千円を次年度に繰越した。

(十ノ六 広酪本所会議室)

第十六回通常総会開催

フードフェスティバル等 消費者交流に積極的参加